



能登半島の夕景(羽咋市千里浜)



# 活動報告書

2023.04-2024.03

Annual Report 2023  
April-March 2023-2024



公益財団法人 風に立つライオン基金

〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目12番11号 赤坂甲陽ビル5F  
Tel. 03-5575-3111 Fax. 03-5575-3112  
<https://lion.or.jp/>



公益財団法人  
風に立つライオン基金  
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015



## 設立者ごあいさつ

私たちの手の届くところへ、  
小さくても確かな愛を伝えてゆきたい。

いつも私たちの活動へのご支援にお力添えを頂き衷心より感謝申し上げます。ここに2023年度の私たちの活動をご報告申し上げます。

この所、異常気象による豪雨災害が増えました。水の国の宿命とも言えますが、また日本は地震災害に苦しんできた国でもあります。そういう意味では常に災害と闘い続け、乗り越え続けた国であるとも言えます。

災害に立ち向かうためにも、風に立つライオン基金は、困っている人々のために自分の力を捧げようという「志」を持つ人々の背中を支えてゆきたいと思っています。

我々一人一人の力はとても小さいけれど、小さな力を合わせることで出来れば大きな災害に立ち向かうことが出来ることも学んで来ました。

コロナ禍もまだ完全に過ぎ去ってはいない中で起きる災害には様々な悩みが混在します。私たちは小さな力ですが、細やかでも出来ることを続け、沢山の人の笑顔を守りたいと思っています。

能登半島地震もまだまだ、闘いもまだまだこれからです。どうぞこれまで以上に皆様のお力をお貸し頂けるようお願い申し上げます。

私たちの手の届くところへ、小さくても確かな愛を伝えてゆきたいと思っています。

感謝を込めて

風に立つライオン基金 設立者 さだまさし



## 理事長ごあいさつ

災害支援活動の中で学んだことを  
これからの活動にしっかり活かしてゆきたい。

日頃より、当基金の活動に対し温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

2023年度は、当基金設立以来、最も多くの災害支援に奔走した一年であったと感じております。

昨年7月の大雨では秋田県秋田市と福岡県久留米市へ、9月の台風13号では福島県いわき市へ、それぞれ義援金をお送りいたしました。また、心の癒しを提供する「ライオンカフェ」を開催し、被災された皆様のお心に寄り添う支援を行いました。さらに、現地で復旧作業に取り組むNPO団体等の方々にも、支援金を通じてささやかながらお力添えをさせていただきます。

一方、海外においても、8月に発生したハワイ・マウイ島の山火事の際に、クラウドファンディングを通じて多くの方々のご厚意を集め、義援金をお送りいたしました。私たちにできることには限りがありますが、国内外で困難に直面する方々へ少しでも寄り添えるよう尽力いたしました。

そして、何よりも本年1月1日に発生した能登半島地震では、発災の初期段階から現地に足を運び、2024年度現在も、当基金全員で心を一つにし、支援を続けております。

災害が発生しないことが望ましいのは言うまでもありませんが、万が一発生した際には、被害を最小限にとどめ、少しでも早く日常の穏やかな生活を取り戻すことが何より重要です。そのために、平時から防災・減災に対する意識を育み、そして防災教育や訓練を積極的に行うことが、災害大国といわれる日本においては何よりも大切な取り組みであると考えております。

自助、共助、公助の三つの力がしっかりと連携することが、被災された方々にとって何よりの支えとなりますが、実際には、言葉だけが独り歩きし、形だけになってしまうことも少なくありません。

当基金は、有事の際の支援活動にとどまらず、平時から地域や自治体の一つとなり、いざという時には「互助」の力で支え合えるような仕組み作りに取り組んでおります。これまでの災害支援活動の中で学んだこと、そして他団体との連携を通じて得た経験を、これからの活動にしっかりと活かしてまいりますと存じます。

今後とも、皆様からの温かなご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

風に立つライオン基金 理事長 古竹孝一

## 風に立つライオン基金とは

### 存在理由

我々は、小さな「志」の集合体です。

我々は、災害に苦しむ人を支援します。

我々は、ささやかで偉大な活動を行う人を応援します。

我々は、大切なひとの笑顔を守るための「平和」について考え、活動します。

一人一人の小さな思いが、沢山の小さな生命を支えられることを信じます。

「風に立つライオン基金」はその為の組織です。

2015年 夏 さだまさし

### 活動理念

1. 私たちは「いのち」や「平和」を守る為に奉仕活動や慈善活動をしている個人や団体に対し、細やかな援助をしていきます。
2. 私たちは大規模災害などで被災した方々に対し大きな組織では目の届かない場所や人へ、ささやかでもぬくもりのある支援をしていきます。
3. 私たちは金銭的、経済的な支援だけでなく、人的支援を行うための組織作り、人材育成を行います。

### 活動内容

1. 助成事業  
国内外において「いのち」や「平和」を守るため支援活動や慈善活動を実践している個人、団体に助成し、偉大な志を支援する活動。
2. 災害復興支援  
大規模な自然災害に被災し、心に痛手を負った人々へ物資や炊き出しを届け、慰問コンサートやチャリティイベントなどぬくもりのあるエールを届ける活動。
3. 顕彰事業  
高校生のボランティア団体を顕彰する「高校生ボランティア・アワード」及び、日本国内外で公共の利益のために奉仕され社会に貢献された個人・団体を表彰する「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」。
4. 講演・イベント  
有識者や著名人をお迎えした講演やチャリティイベントを開催し、参加者に笑顔と幸せを届け、活動を継続する募金を呼びかける。

## 「風に向かって立つライオンでありたい」

風に立つライオン基金は、国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕活動や慈善活動を実践している個人・団体を支援しています。

2023年度で助成事業は9期目を迎え、延べ69団体に100,171,168円の助成を実施しました。

これからも、「風に立つライオン」の志を応援していきます。

実施期間 2023年4月1日～2024年3月31日

助成総額 21,790,000円

助成団体 13団体



### 特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

国際医療 カンボジア王国カンダール州クサイ・カンダール郡およびアレイクサット市（一部）

カンボジアにおける障がい児支援事業

助成額 1,460,000円

対象地域内の保健センター19施設、それらのセンターを管轄する保健行政区事務所および特別支援学級の職員を対象に、言語療法の研修を実施しました。参加者は、嚥下や発語支援に関する基本的な知識と対応方法を学びました。また、障がい児延べ101名が専門機関にて治療やリハビリテーション、補装具の提供を受けました。



### 特定非営利活動法人 ADRA Japan

国際医療 ネパール国ルンビニ州バルディア郡

ネパール医療従事者・保健ボランティアへの小児疾病総合管理研修

助成額 1,530,000円

コミュニティに根ざした新生児・小児疾病総合管理研修を、西ネパールのバルディア郡全8自治体の保健関連施設/病院の医療従事者101名と保健ボランティア472名を対象に実施。母子保健の向上に必要な人材の能力強化と知識の更新がなされたことで、地域住民が適切な保健指導が受けられるようになり、保健施設でも健診や相談、診察を受け入れる体制が改善された。



### 特定非営利活動法人 DAREDEMO HERO

国際医療 フィリピン共和国セブ州セブ市

フィリピンにおける女性の感染症予防教育

助成額 1,530,000円

フィリピン・セブ市に住む貧困層女性100名に対し、布ナプキンの普及と婦人病セミナーの実施、及びその100名を含む400名に対し、通年の性感染症セミナーを実施。加えて希望者への性病テスト（HIV・C型肝炎）、子宮頸がん検診・視診を提供。合わせて性感染症予防啓発のためのリーフレットを作成し、6000枚を配布した。



### 特定非営利活動法人 アイキャン

平和や自然環境等を守る活動 フィリピン共和国マニラ市・ケンソン市・サンマテオ町

フィリピンの路上の子どもの予防と早期介入のための基盤構築事業

助成額 1,960,000円

フィリピンマニラ首都圏3地区の路上で暮らす子どもと児童養護施設の子ども47名を対象に、スポーツを通したライフスキル研修6回とリーダーシップに関する研修を計16回実施して、若者リーダーを育成した。また、若者リーダー議会を開催し、4か所の若者リーダーが学びと今後の活動計画を共有し合うことで、各地域の若者リーダー間のネットワークも構築した。



### 特定非営利活動法人 HANDS

国際医療 シエラレオネ国カンビア県

子どもから地域住民へと育む持続可能な栄養改善のしくみ作り

助成額 1,090,000円

シエラレオネのカンビア県の5か所の小学校にて、各学校地域に存在する母親支援グループ約75名が主になりモリンガ葉の粉末製造と貯蔵を行い各学校で週2回モリンガ給食を提供、そして母親たちにモリンガ料理講習会を開催した。また新たに、対象校の全児童が1本のモリンガを自宅で育てるマイ・モリンガ活動も開始し、自宅でもモリンガ料理が提供されるしくみ作りに取り組み始めた。



### 特定非営利活動法人 TICO

国際医療 ザンビア共和国

ザンビア心臓血管外科支援事業

助成額 2,111,000円

ザンビアのNational Heart Hospitalに医師、看護師、臨床工学技士からなる専門家チームを派遣し、現地の心臓血管外科チームが手術を含めた診療を安全に行えるように、一緒に診療を行う事で支援した。



**特定非営利活動法人 アクセス-共生社会をめざす地球市民の会**  
平和や自然環境等を守る活動 フィリピン共和国ケソン州アラバット島ベレス町

フィリピン農漁村における子どもにやさしいコミュニティづくり

助成額 1,290,000円

本事業では、フィリピン農漁村の貧しい家庭の小学生190名に対し小学校への就学支援を行うとともに、子どもとその保護者に子どもの権利に関するワークショップ・セミナーを実施することで、子どもの権利についての意識を高め、保護者による子どもへの接し方を改善し、保護者会を子どもの権利の伝達者・保護者として強化することができました。



**児童養護施設ハウスオブジョイ**  
平和や自然環境等を守る活動 フィリピン共和国ミンダナオ島

日本人学生の招聘を通じた  
フィリピン児童教育と次世代日比異文化交流事業

助成額 950,000円

年間100人近い若者が来てくれていたハウスオブジョイですが、コロナ禍でビジターが来なくなり、ようやくその規制が解かれた後も、物価高と円安の影響で、昔のような濃密な日本の若者との交流が難しくなっていました。2023年度、助成をいただいたことにより、日本の23か所の教育機関で講演をすることができ、600人以上の大学生に話をしました。その結果、50人の若者が当地に来てくださり、子どもたちと素晴らしい交流ができました。



**シロアムの園**  
国際医療 ケニア共和国キアンブ郡

ケニア共和国キアンブ郡と  
その近隣に在住の障がい児とその家族

助成額 2,600,000円

2023年度は目標65名には到達しなかったが、56名の様々な障がいのある子どもたちとその家族に対して、医療、リハビリ、教育、心理的・社会的支援を提供することができた。特に家庭訪問などを通して家庭・地域での生活に焦点をあてたりハビリ、家族の収入向上プログラムの拡大により、施設内サービスのみならず、子どもたちと家族の生活が改善した。



**一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会**  
公衆衛生向上活動 モザンビーク共和国カーポデルガド州

モザンビーク共和国テロ紛争避難施設整備と  
公衆衛生・配食活動

助成額 2,780,000円

モザンビーク共和国カーポデルガド州ベンバにおいて、テロ紛争国内避難民年間200名が居住するナティティ平和の家の安全かつ衛生的な環境を整え、ベンバ寺子屋の子どもたち350名に配食と公衆衛生教育を行い栄養状態改善と疾病対策を図ることで、最貧地域の支援の行き届かない人たちの命と健康を守ることに貢献した。



**特定非営利活動法人 胃癌を撲滅する会**  
国際医療 ラオス人民民主共和国、ブータン王国

ブータン、ラオスの胃癌撲滅のための内視鏡医育成及び癌教育

助成額 1,070,000円

ブータンでは胃癌についての学校教育を本法人が行い、病理医への実地研修も行った。内視鏡研修は続行し、早期胃癌の発見も見られるようになった。ラオスにおいては4回の現地でハンズオンの内視鏡指導および600人の住民にピロリ菌検診をまた、100名のピロリ陽性者に内視鏡検診を行い、除菌薬を配布した。



**特定非営利活動法人 日本リザルト**  
公衆衛生向上活動 ケニア共和国ナイロビ州

スラム街のヘルスセンターの公衆衛生改善アドボカシー

助成額 1,560,000円

ケニア・ナイロビのスラム街、カンゲミ地区は劣悪な公衆衛生状況が問題になっている。上下水道が完備されていないうえ、排水整備も脆弱なため、雨の度に汚水がヘルスセンター内に入り、感染症の原因となっていた。そこで専門家がカンゲミヘルスセンターのスタッフに効果的な清掃方法や排水処理を指導するとともに、毎朝の定期清掃を習慣化させる啓発活動を実施。最終的にはヘルスセンターのスタッフが自発的に掃除をするようになった。



**一般社団法人 共生の会**  
国際医療 ケニア共和国カジアドカウンティ、キアンブカウンティ

ケニア共和国スラム街での学童検診実施と発育管理・教育

助成額 1,860,000円

カジアドカウンティの幼稚園、小学校、中学校で241名、キアンブカウンティの児童養護施設で26名、計267名の児童に学童検診を実施し、健康手帳と感染予防リーフレットを配布した。教育者や保護者にも、子供たちの発育や健康状態に関心と知識をもたらさすことができた。今後も成長度合いや異常の早期発見に向けて記録を継続する予定である。



## 「ささやかでもぬくもりのある支援」を

2023年も梅雨から夏にかけて豪雨や台風により、九州から東北に及ぶ広範囲で被害が報告されました。また、2024年の年明けには能登半島地震が起き、特に奥能登地域は壊滅的な被害が出ました。当基金としては、自治体への義援金の贈呈、災害復興支援団体への活動助成、被災地の社会福祉協議会やピースポート災害支援センターと連携しながら、物資支援や「ライオンカフェ」などの支援をいたしました。

### 令和5年6月・7月大雨災害支援

6月28日から7月6日にかけて、活発な梅雨前線や上空の寒気の影響で、沖縄地方を除いて全国的に大雨となりました。この間の総降水量は九州では700mlを超え、平年の7月の月間降水量を超えた地点もありました。また、7月7日から7月10日にかけては、梅雨前線が西日本から東北地方付近に停滞し、九州北部地方や中国地方を中心に大雨となりました。久留米市田主丸町竹野地区では土石流で人的な被害が出た他、多くの家屋や農地が浸水しました。7月14日から7月16日にかけての大雨では、秋田県で5000棟を超える床上浸水や6000軒に及ぶ家屋の損壊などが報告されました。

■ 義援金	秋田県	1,000,000円
	福岡県久留米市	1,000,000円



### ■ 災害支援助成金 (総額 3,000,000円)

対象団体 / 令和5年6月・7月大雨、及び令和5年台風7号における災害救助法が適用された1府10県(青森県、秋田県、富山県、石川県、京都府、兵庫県、島根県、鳥取県、福岡県、佐賀県、大分県)の27市14町3村(内閣府防災担当 令和5年8月16日時点)

団体名(支援活動地域)

- ・オーロラブラック(秋田市)
- ・一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム(佐賀県唐津市、佐賀市)
- ・一般社団法人Camp(福岡県朝倉市)
- ・NGO災害救援 フェニックス救援隊(秋田市)
- ・王子プロジェクト(石川県津幡町)
- ・NPO法人MAKE HAPPY(秋田市)
- ・一般社団法人Jump(秋田市)
- ・風組関東(秋田市)
- ・災害NGO結(福岡県久留米市)
- ・コミサボひろしま(福岡県久留米市)



### ■ ライオンカフェ

9月7日・8日には、久留米ふれあい農業公園に開設されたボランティアセンター東部サテライトにて、風の団の方にお手伝いいただき「ライオンカフェ」を開きました。久留米市内で活動するボランティアの皆さんに、猿田彦珈琲のブラックとカフェオレ、福砂屋のキューブカステラを配布して、労を労いました。



### 令和5年台風13号災害支援

9月7日から9日にかけて、台風13号から変わった熱帯低気圧が東海道沖に停滞し、南から暖かく湿った空気が台風の東側に流入して関東甲信地方や東北太平洋側で大雨となりました。伊豆諸島、千葉県、茨城県、福島県では線状降水帯が発生し、1時間降水量が観測史上1位を更新した地点があったほか、3日間の総降水量が400mlを超えた地点や平年の9月の月降水量を超えた地点もありました。当基金では、いわき市社会福祉協議会をはじめ、現地で活動している支援団体の方々などから現場のニーズを伺い、支援物資をいわき市にお送りした他、災害支援助成金を送らせていただきました。

### ■ 支援物資(総額 約1,400,000円相当)

タオル	2,000枚
サーキュレーター	300台(床下乾燥のため)
コンパネ	200枚(床板材として)

### ■ 災害支援助成金(総額 1,200,000円)

対象団体 / 令和5年台風13号における災害救助法が適用された福島県、茨城県及び千葉県の9市4町(内閣府防災担当 令和5年9月9日時点)

団体名(支援活動地域)

- ・NPO法人ONE STEP(福島県いわき市)
- ・NPO法人災害救援レスキューアシスト(千葉県茂原市、大網白里市)
- ・一般社団法人千葉県南部災害支援センター(千葉県茂原市、大網白里市、長南町)
- ・一般社団法人日本カーシェアリング協会(福島県いわき市、千葉県茂原市)

### ■ ライオンらくごカフェ

12月2日に、内郷内町立町集会所と内郷白水町上代集会所にて、内町町内会と災害支援ネットワークIwakiに協力する形で「ライオンらくごカフェ」を開催しました。猿田彦珈琲さんのドリップコーヒー教室と柳家一琴師匠の落語会に加え、風の専門団からお医者さんと看護師さんにご協力いただき健康相談会も開きました。地元のいわき総合高校の生徒さんたちも、ボランティアとしてお手伝いしてくれました。





## 令和6年能登半島地震支援

2024年1月1日16時10分、石川県能登地方で発生した大地震は志賀町で最大震度7を計測、石川県内で250人近くが亡くなり、8,000戸以上が全壊、半壊・一部損壊が70,000戸を越えました。また、新潟県でも100戸以上の全壊、20,000戸以上の半壊・一部損壊、富山県でも250戸近い全壊、17,000戸以上の半壊・一部損壊という甚大な被害が報告されています。輪島市、珠洲市では2024年5月時点でも断水している地点がかなり残っていて、生活の再建が困難な状況が続いています。当基金としては、発災から10日後の1月11日に初めて石川県を訪れ、物資支援を中心に細やかな支援を行っています。2024年度も引き続き、長期に亘って支援を続けてまいります。



## ■ 生活用品・食品・車両・機材等支援 (総額 6,091,326円)

2024年3月末現在

- ・肌着、衛生用品、生理用品、毛布、災害用トイレ、水タンク、ドライシャンプー、拭くシャンプー、寝袋、マットレス、給水シート、ごはんパック、ドレッシング、各種調味料など
- ・ペットボトル飲料水(550ml×3,000本)
- ・レトルト食品(良品計画 1,000食分)
- ・炊き出し用食材(カット野菜他 11,932食分)
- ・チャンピオンカレー(400食)
- ・福砂屋カステラ(400個)
- ・猿田彦珈琲(ペットボトル 2,000本/ドリップコーヒー 200杯分)
- ・田辺農園バナナ(ANAフーズ提供 7,000本)
- ・のど飴(浅田飴提供 2,000袋)
- ・薬膳スープカレー(香樹提供 300食)
- ・エクアドル産チョコレート(エクアドル大使館、KOSPIND JAPAN提供 300個)
- ・特選梅干(南紀梅干株式会社提供 50kg)
- ・キャンピングカー1台(輪島市社会福祉協議会)
- ・軽トラック2台(カーコンビニ倶楽部提供 志賀町ボランティアセンター)
- ・浄水機「アクアキューブ」(村上製作所提供 輪島市門前町七浦地区)
- ・電動トイレ・ラップボン5台(穴水町、七尾市)



## ■ 炊き出し&ライオンカフェ/協力団体

- 1月30日 珠洲市旧本小学校/日本食育HEDカレッジ
- 2月 8日 七尾市中島林業総合センター・小牧集会所/石川県立津幡高等学校有志
- 2月24日 輪島市立大屋小学校/チャンピオンカレー
- 3月 6日 直小学校避難所 他2ヶ所/ピースポート災害支援センター
- 3月14日 珠洲市若山小学校、珠洲市旧本小学校/日本食育HEDカレッジ
- 3月15日 珠洲市朝日避難所/日本食育HEDカレッジ
- 3月24日 輪島市立門前東小学校「能登雪割草まつり」/猿田彦珈琲



1月30日 珠洲市旧本小学校/日本食育HEDカレッジ



2月8日 七尾市中島林業総合センター・小牧集会所/石川県立津幡高等学校有志



2月24日 輪島市立大屋小学校/チャンピオンカレー



3月6日 直小学校避難所 他2ヶ所/ピースポート災害支援センター



3月15日 珠洲市朝日避難所/日本食育HEDカレッジ



3月24日 輪島市立門前東小学校「能登雪割草まつり」/猿田彦珈琲



この災害で当初特に深刻だったのは、道路が寸断されて多くの地域が孤立し、断水が長期間に亘ったことです。当基金もまずは飲料水の支援、次に食料品、生活用品の支援から始めましたが、県庁や石川県社会福祉協議会などで情報を集めるうち、支援する側、すなわち市町や社会福祉協議会の職員さん自身が多く被災されていることを知りました。自宅が全壊した職員さんが多く、しかも女性が多いうらっしゃるということで、輪島市の社会福祉協議会に寝泊まりできるキャンピングカーを1台提供するところから本格的な支援を開始しました。



炊き出しをする団体が断水と道路事情によって食材の調達に困難を極めていましたので、金沢市内のカット野菜工場ベストアグリフーズさんをお願いして、食材の提供を始めました。輪島市、能登町、珠洲市の奥能登へ直接アクセスすることは差し控え、七尾市にある「広域支援ベース@にしぎし」を拠点に活動している災害NGO結(ゆい)さんに届けてもらい、そこから必要な所に配達してもらったり、受け取りに来ていただく方式を採用しました。2021年に災害支援協定を結んだ認定NPO法人ピークエイド(代表:野口



健さん)とは、共同で電動トイレ・ラップポンを購入し穴水町や七尾市に設置しました。

また、今回の支援活動では、多くの企業・団体の皆様から支援協力いただきました。金沢に隣接する津幡町にある有限会社ブランドル飯田さんは無償で倉庫を貸してくださり、今回の支援の拠点となりました。

これまで幾度も災害支援にご協力くださっている猿田彦珈琲さんや浅田鈴さんからは、今回も多大なるご支援をいただきましたが、新たにエクアドルの田辺農園のバナナを輸入販売しているANAフーズさんからバナナをご提供いただいたり、南紀梅干株式会社さんから昔ながらの白干の南高梅をご提供いただき、避難所や自宅避難されている皆さんにお届けしました。エクアドル大使館からもご連絡をいただき、エクアドル産のチョコレートを販売会社のKOSPIND JAPANさんと共にご提供いただきました。



大阪の薬膳スープカレーのお店「香樹」さんからはスープカレーの素をご提供いただき、カット野菜と共に珠洲市で炊き出しをされているピースポート災害支援センターさんにお届けしました。同じくこれまで大きな災害の度にご支援くださっているカーコンビニ倶楽部さんから、四輪駆動の軽トラックを2台ご提供いただき、志賀町のボランティアセンターにお届けいたしました。



孤立が長く続いた輪島市門前町には、当基金四国支部のツテで香川県高松市に本社を置く株式会社村上製作所から、プールや川から汲み上げた水を生活用水に使うことができる浄水機「アクアキューブ」を貸し出させていただきました。前述のベストアグリフーズさんは本業の野菜カットだけでなく、肉や豆腐、かまぼこ、牛乳などの食材の調達をしてくださっていますし、食材の配達をしてくださっている弥栄フーズさんはバナナの配達でもご協力くださいました。ご協力いただきましたすべての皆様に、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。



間接的な支援として、被災現場で復旧活動や炊き出しを行っている以下18団体に災害助成金をお送りしました(2024年度になってから2回目の助成も実施)。



## ■ 災害支援助成金 第1回(総額5,067,827円)

対象団体/令和6年能登半島地震における災害救助法が適用された新潟県、富山県、石川県及び福井県の35市11町1村(内閣府防災担当 令和6年1月1日時点)

団体名(支援活動地域)

- ・一般社団法人KISA2隊(石川県穴水町)
- ・一般社団法人こころのケアまごころ(石川県輪島市)
- ・ケアプロ災害支援チーム(石川県輪島市)
- ・一般社団法人ONE TEAM(石川県内灘町、羽咋市、七尾市、輪島市)
- ・オーロラブラック(石川県内)
- ・災害支援ゲキゲキ隊(石川県津幡町、内灘町、羽咋市、七尾市)
- ・RE:BIRTH(石川県羽咋市、内灘町)
- ・特別非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク(新潟市西区)
- ・NGO災害救援チーム フェニックス救援隊(石川県能登町、珠洲市、七尾市、輪島市)
- ・一般社団法人日本食育HEDカレッジ(石川県珠洲市)
- ・TASUKE愛(石川県津幡町、羽咋市、内灘町)
- ・王子プロジェクト(石川県津幡町、かほく市、羽咋市、内灘町)
- ・特別非営利活動法人防災・災害ボランティアかわせみ(石川県志賀町)
- ・一般社団法人DPLS-JAPAN(石川県能登地域)
- ・SVTS風組(石川県内)
- ・山崎絆塾(石川県珠洲市)
- ・風組関東(富山県高岡市)
- ・災害時女性支援プロジェクト 能登半島(石川県七尾市)
- ・ハヶ岳能登復興支援チーム(石川県輪島市)

## 以下参考資料 2024年度分

### ■ 義援金(総額28,000,000円)

- ・石川県珠洲市 5,000,000円(4月6日)
- ・石川県輪島市 5,000,000円(4月6日)
- ・石川県能登町 3,000,000円(4月15日)
- ・石川県穴水町 3,000,000円(4月15日)
- ・石川県志賀町 3,000,000円(5月10日)
- ・石川県七尾市 3,000,000円(5月10日)
- ・石川県内灘町 3,000,000円(5月10日)
- ・富山県氷見市 3,000,000円(5月10日)

### ■ 炊き出し&さだまさし支援ライブ

- 4月 6日 珠洲市、輪島市にて支援ライブ  
8番ラーメン、チャンピオンカレー、レストランピーター、タルトタ、チャノキカナザワ、Bond&Justice
- 4月15日 須須神社、能登清水の里・穴水、旧久江小学校にて支援ライブ

## 高校生ボランティア・アワード2023

2023年8月9日・10日の2日間、前年と同じ新宿住友ビル三角広場にて華やかに開催されました。135団体が6月～7月にかけてオンラインで行われた活動発表交流会を経て、88団体がブース発表団体として選ばれ、直前に1団体欠席の連絡があったため最終的に87団体が全国から集まりました。新型コロナウイルスが感染症法上5類に移行したことで、様々な制約が減り、高校生たちの表情が昨年より明るかった気がします。ブースの数は昨年より10ブースほど減りましたが、一校あたりの参加人数に制約を設けませんでしたから参加人数はむしろ多かったくらいですし、受付のあとの記念写真も大会委員長のさだまさしと司会進行の川島葵アナウンサーと一緒に撮影できました。



エントリー数	135団体
参加数	87団体
発表活動交流会 (予選大会)	各参加団体3分間のプレゼン+質疑応答。 同グループの団体の投票+事務局審査により、 全国大会へ87団体選出
全国大会1日目 8月9日(水)	ブース発表と高校生同士の交流。
全国大会2日目 8月10日(木)	シンポジウム有識者を交え意見交換・質疑応答、 ブース発表・特別表彰式。

### 大会ロゴマーク

テーマ：「私たちが創る未来」 応募数：約441点



### 最優秀作品

埼玉県立芸術総合高等学校  
湯澤 空美 (ゆざわくみ)さん



### ブース発表

大会当日は「長崎原爆忌」でしたので、11時2分に参加者全員で1分弱、長崎に向かって黙祷を捧げました。大会委員長のさだまさしは、「今年もこんなに多くの高校生たちが集まってくれてとても幸せです。誰かの為に頑張っている高校生がこれほどしてくれるのは、とても素敵だと思います。みんなで手を繋いだらもっと大きなことが出来るんじゃないか、という気がしています。この思いを集めていって日本が変わるんじゃないかと期待しています」と高校生たちへメッセージを送りました。

参加校を代表して、初芝立命館高等学校インターアクトクラブの元山慶祐(もとやま けいすけ)さんから素晴らしい開会宣言をいただきました。

1日目のブース発表は、参加した高校生だけによる発表でした。昨年、コロナ対策で一般来場者を一切お断りした結果、高校生同士の交流が大変深まったという思わぬ収穫があり、今年も1日目はそれに倣った形。発表ブースは様々な創意工夫を凝らし活動写真や図面、模型などを展示、衣装や被り物を身に付けて活動をアピールするなど、活気に満ちていました。また、お互いがお互いのブースを訪問しながら交流を深めている様子が各所で見られました。また初めて参加高校生たちの交流会を実施し、青森県立柏木農業高等学校・柏農ねぶた委員会絵師三銃士の皆さんによるお囃子がねぶた祭の映像と共に披露されました。ブース発表とは違うフェーズでお互いをよく知る機会を作り、場合によっては今後、一緒に活動していくような方向に発展することを期待して事務局が用意した時間でしたが、想像していた以上に活発に話し合っている姿を見て、他の大会にはない「高校生ボランティア・アワード」の真骨頂だと感じました。この日の締めは白石踊800年の伝統を受け継ぐ会の皆さんによる白石踊の披露。参加した高校生一同で一緒に踊って一体感を深めました。

2日目は一般の来場者に向けての活動発表でした。多くの方が高校生の活動に興味を持って、また高校生たちにエールを送りたいとご来場くださいました。また、応援団のテツandトモのお二人、新羅慎二さん、ももいろクローバーZの高城れにさんもほとんどのブースを熱心に見てくださいました。こうしたプレゼンもボランティアに必要なコミュニケーション能力を高めるために大切な経験になったことと思います。



### シンポジウム

2日目に参加高校生全員が参加するシンポジウムが開催され、5人のパネリストと熱の籠った議論が交わされました。冒頭、今回のテーマ「私たちが創る未来」についてパネリストのご意見を伺う中で、高校生からも積極的に発言があり、年々この大会の目指す目標に近づいているのが伝わってきました。

「僕は君たちくらいの時に「面白い人生を歩みたい」と考えていました。その中で「1%だけは誰かのためになるようなこと」をしないと考えるようになっていった。そう考えた時に「私たち」の「たち」の部分で「1%誰かのために」とスクラムが組めるようになれば、「私たちの未来」を語れるようになるんじゃないかと思います」(鎌田實先生)



### オブザーバー ■ パネリスト



諏訪中央病院 名誉院長  
当法人評議員  
鎌田 実



一般社団法人  
BOSAI EduLab代表理事  
上田 啓瑚  
(かみだ けいご)



語り部  
菊池 のどか



スポーツキャスター  
当法人評議員  
古田 敦也



国境なき医師団  
アドミニストレーター  
森川 光世



新潟災害ボランティア  
ネットワーク理事長  
李 仁鉄  
(りじんてつ)



フリーアナウンサー  
寺島 尚正



フリーアナウンサー  
川島 葵

※五十音順・敬称略

### 司会

主催：公益財団法人 風に立つライオン基金  
後援：文部科学省／朝日新聞社／NHK厚生文化事業団／東京都／全国社会福祉協議会  
特別応援：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本／日本赤十字社／オーロラ基金  
助成：公益財団法人 日本財団

※協賛社は18ページに掲載 ※順不同・敬称略



大会ダイジェスト





## 「風に立つライオン・オブ・ザ・イヤー」贈賞式

11月14日(火)、東京・内幸町の日本プレスセンターで、「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー2023」の贈賞式を行いました。

「風に立つライオン基金」が、支援活動や奉仕活動を実践する個人・団体を表彰するものです。

同賞は、日本国内外で命や平和を守るために支援活動や奉仕活動を実践する個人・団体を顕彰することで、その意義のある活動が広く認知され、より多くの支援・協力が集まり、活動が更に発展していくことを期待します。個人の善意に端を発した小さな活動が、多くの人々の命や生活を支え、様々な社会課題の解決につながる大きな流れとなるよう、応援していきたいと思ひます。

## 柴田紘一郎賞と鎌田實賞(各1件)

正賞	腕時計
副賞	200万円



※毎年開催。募集は通年にわたり随時行われ、秋頃に表彰式を開催予定。

記念すべき第1回目の柴田紘一郎賞は、モザンビークのいのちをつなぐ会・代表理事の榎本恵氏、鎌田實賞は医療法人双樹会よき往診クリニックの守上佳樹氏がそれぞれ受賞しました。

正賞は当初考えていたトロフィーではなく「腕時計」が贈られました。賞を贈るにあたり、さだは「お二人にとって時間はとても重要なものだと思うので、それを象徴するものとして時計にしました」と語り、「今回、第1回ですので、これから2回、3回と回を重ねる中で、育てていかなければならないし、意味のある賞にしていかなければならないと思ひます」と決意を述べました。また、「異国でその国の人々を守ろうとする尊さは胸が痛くなるほど感じています。それを覚悟と意思を持って活動されている方がたくさん世界中にいることは知っておりますが、この賞をきっかけにそんな方々がもっと頑張ろうと思ひていただけるよう、たくさんの方に認められて大きな賞になっていくことを目指していきたい」と語りました。

「こういう方々が日本中、世界中にいることを多くの方が知ったら、日本人として誇りに思えるし、嬉しくなりますね」と鎌田先生。

受賞されたお二方も、今回の受賞をとても喜んでくださり、「この賞に恥じない活動を今後も続けていきたい」と豊富を語ってくださいました。お二人には副賞として200万円の副賞も贈られ、今後の活動に役立てることを約束されました。

## 対象者・分類

- 日本国内外で5年以上、以下の活動に従事している日本人個人及び日本の団体
1. 医療や公衆衛生の向上等を目的とする活動
  2. 平和や自然環境等を守る活動
  3. 大規模災害の復旧支援を行う活動
  4. その他、当基金で対象として相応しいと認めた活動

## 審査基準

1. 活動に対する熱意
2. 地域への貢献度
3. 社会的なインパクト(影響力など)
4. 継続性  
などを指標として、多方面から審査

## ハンド&フットマッサージ講習会

日時/2024年3月3日(日)

講師/岡嶋さゆりさん(株式会社エム・シー・ファクトリー代表取締役)

東京都内で、風の団のみなさんにハンド&フットマッサージの技術を伝授していただきました。講師の岡嶋さんはお父さんが脳梗塞で倒れたことがきっかけで、当時通っていた足つぼマッサージの先生に「足のマッサージをしてあげるのが脳にいい」と聞き、弟子入りしたそうです。マッサージは確かに技術的なスキルが重要ですが、本講習会では「マッサージは技術だけではなく、80パーセント以上が思いやぬくもりであり、手から伝わる温かさで癒しを与えることができる」ということを中心に教えていただきました。

今回の講習会をきっかけに、当基金が行っている「ライオンカフェ」の活動内でも今後取り組んでいきたいと考えております。能登半島地震被災地は現在も復旧・復興に向けて多くの方々方が努力をされています。心が少しリラックスすることでできるマッサージや健康相談会などの取り組みを進めていきたいと存じます。

今後もこういった講習会を開催していきます。



## 風の団・風に立つライオン・ユース 活動報告

2023年8月9日(水)10(木)「高校生ボランティア・アワード2023～私たちが創る未来～」大会運営ボランティアスタッフとして、風の専門団(医師・看護師)・風に立つライオン・ユース(大学生)の皆さんが大会サポートをしてくださいました。受付業務、誘導、会場内の巡回、お弁当の配布、高校生からの様々な質問にも対応していただきました。



## 風に立つライオン基金プラットフォーム (スマートフォンアプリ)

全国のような問題を解決するため、災害時に支援を必要としている人々に対し迅速かつ適切な支援を届けるための情報発信・共有の場として、現在スマートフォンのアプリとして「風に立つライオン基金・プラットフォーム」を新装中です。2024年度夏から試験運用予定。スマートフォンで手軽に操作していただけます。風に立つライオン基金ニュースレターや活動報告なども随時配信してまいります。

## 風の会員募集

### 風の団

	会員種別	年会費
専門団 医療系歯科雨などの専門技術を活かす	個人	1万円
奉仕団 キャリアやその他の持てる力を活かす	個人	1万円
支援団 会費によって風の団の活動を支える	個人	1万円
	法人	1口10万円
	特別法人	3口30万円～

## 風に立つライオン・ユース

学校や活動分野の垣根を超えて、自由で活発な交流をしながら切磋琢磨していきます。

会員種別	年会費	対象
個人	無料	学生・社会人(30歳以下)
認定校	無料	認定団体

## 会員特典

会員証、メルマガ、イベント等優先案内、グッズ販売など

※会員種別により異なります。



会員登録はこちら

# 法人・団体とのパートナーシップ

# ご支援くださった法人のみなさま



法人や団体のみなさまの特徴や製品を活かした協働により、支援の輪と可能性を大きく広げることができます。みなさまがこれまで培われた優れたスキルやノウハウで、ささやかで偉大な志を共に応援していくため、ぜひお志を共に歩んでくださいますと幸いです。

多くのみなさまの支えにより、活動を続けることができます。ご支援くださったみなさまへ、心より感謝を申し上げます。

## 法人会員になって応援

企業・団体として風の団の支援団としてご登録いただき、会費によって、風に立つライオン基金や風の団の活動をサポートいただいております。会員特典として、感謝状や感謝盾の贈呈および、ホームページや年次報告書等に企業・団体名を掲載させていただきます。

## イベント協賛で応援

高校生ボランティア・アワードやさだまさしチャリティ・コンサートをはじめ、当法人が主催するイベントへの協賛を広く募集しています。新たな企画アイデアも、ぜひ一緒に創りあげていきましょう。

### ■ 高校生ボランティア・アワード2023協賛各社



## 寄付で応援

頂いた寄付金や寄贈品を追い風にして、災害時などに支援を必要とする方々や偉大な志の活動へ支援の輪を広げていきます。



寄付はこちら

※当法人への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金として、法人税法上の損金算入限度額が通常の損金算入限度額とは別枠で認められます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは、ホームページをご確認ください。

## 2023年度のパートナーシップ

### ■ 「富士通レディース2023」チャリティ

日本女子プロゴルフ協会公認のトーナメント「富士通レディース2023」(2023年10月13日(金)～15日(日)、於:東急セブンハンドレッドクラブ)大会を通じて収益金の一部を、富士通株式会社様より大規模災害被災者支援などのための資金としてご寄付いただきました。大会最終日は残念ながら雨で中止となり、短縮競技による賞金減額分も一般社団法人 日本女子プロゴルフ協会(JLPGA)様より一部ご寄付をいただくこととなりました。

ご寄付合計額 16,581,020円



## 47分の1プロジェクト

高校生ボランティア・アワード2022で生まれた高校生による新プロジェクト「47分の1プロジェクト」が能登半島地震支援のために募金活動を行い、風に立つライオン基金に寄付してくれました。(23団体合計1,543,328円)



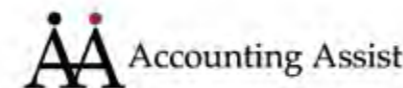
## 風の団支援団

### ■ 特別法人会員



IKSインベストメント株式会社

IKS INVESTMENT  
KAWASAKI



株式会社アカウンティング・アシスト

有限会社  
勇不動産コンサルタント



### ■ 法人会員

- アートレイクゴルフ倶楽部 丸松興産株式会社
- 有限会社スズキオートセンター小塚
- 医療法人社団亀生会 丹生クリニック
- ハルテック株式会社
- 株式会社ビッグ・ハンズ大分
- 黒姫断熱株式会社
- たちばな書道会

## ご寄付

有限会社  
勇不動産コンサルタント



伊豆フリージングサービス

一般財団法人國學院高等学校同窓会



猿田彦 猿田彦珈琲株式会社



富士通株式会社



株式会社ミスミ



株式会社ランダムアソシエイツ

※10万円(相当)以上のご支援を頂いた法人・団体のみなさまを、敬称略・五十音順で掲載させていただいております。

風に立つライオン基金の活動は、みなさまの温かなご支援により支えられています。  
頂いた寄付金や募金・会費・協力を追い風にして、必要とする方々や偉大な志へ支援の輪を広げていきます。

## 会員になる

【風の団】 基金が運営する支援組織に登録していただき、要請に応じて被災地支援などの活動にご参加いただく会員です。医療系資格などの専門スキルを活かして活動していただく「専門団」と、専門資格を必要としない「奉仕団」、会費によって風の団の活動を支える「支援団」があります。

※詳しくはP16「風の団の会員募集」をご確認ください。

## 継続的に寄付する

月々1,000円から、クレジットカードによりご支援いただけます。



寄付はこちら

## 今回のみ寄付する

クレジットカードもしくは銀行振込によりご支援いただけます。

## 遺贈・相続財産で寄付する

風に立つライオン基金は、いのちのいのちをつなぎます。わたくしたちの活動にご理解・ご支援くださる方々が年々増えており、遺贈や相続財産のお問い合わせも沢山いただくようになりました。託していただいた故人および相続人の方からのお志を、次世代の支援を必要とする方々へ繋いでゆきます。

※資料をご希望の際は、事務局までお問い合わせください。



## 寄付金控除・領収書について

風に立つライオン基金は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当法人へのご寄付は寄付金控除等の税の優遇措置(減税)を受けることができます。確定申告を行うことで、個人の場合は寄付額に対して最大40～45%が還付されます。詳しくは、ホームページをご確認ください。

## これまでご支援いただいたご寄付のご報告

	支援人数	支援金額
第九期(2023年度)	8,694 人	163,513,839 円
第八期(2022年度)	6,763 人	58,575,256 円
第七期(2021年度)	6,174 人	83,805,622 円
第六期(2020年度)	6,845 人	136,190,466 円
第五期(2019年度)	2,635 人	45,472,959 円
第四期(2018年度)	2,393 人	55,306,226 円
第三期(2017年度)	1,683 人	28,956,869 円
第二期(2016年度)	1,646 人	52,278,107 円
第一期(2015年度)	689 人	68,871,580 円
累計	37522 人	751,550,177 円

※2024年3月31日までの集計です。  
※コンサート、イベント会場等でいただいた募金は支援金額のみ加算しており、支援人数には反映していません。  
※各期は、4月1日～3月31日となります。(第一期のみ、2015年8月10日～2016年3月31日)

## グッズを買って応援する

風に立つライオン基金のオリジナルグッズやコラボレーション商品をご購入いただくことで、手軽に応援いただくことができます。環境や人道負荷が少ない商品や、裏側にある生産者が紡ぐストーリーへの共感が社会貢献につながる世界を目指しています。企業や団体のみなさまからのコラボレーションのご提案もお待ちしています。



グッズ購入はこちら



折りたたみ電動アシスト自転車「eco★ペダル」(カーコンビニ倶楽部株式会社)



さだ彦珈琲のカフェオレのもと さだ彦珈琲のコーヒゼリー(猿田彦珈琲株式会社)



オリジナルキャップ



オリジナルカラビナ



オリジナル防災巾着



オリジナルワッペン

## 風に立つライオン放送局



公式YouTube「風に立つライオン放送局」では風に立つライオン基金の活動やささやかで偉大な志の想いを発信しています。チャンネル登録とお気に入り動画へのいいねをよろしく願っています。



風に立つライオン放送局 公式YouTube



風に立つライオン基金ヒストリー～設立のきっかけとあゆみ、これからについて～



高校生ボランティア・アワード2023 大会ダイジェスト映像

## メディア掲載情報

### ■ 新聞

秋田魁新報  
伊勢新聞  
愛媛新聞  
北國新聞  
北日本新聞  
京都新聞  
神戸新聞  
埼玉新聞  
佐賀新聞  
山陰中央新聞  
産経新聞  
サンケイスポーツ

山陽新聞  
下野新聞  
スポーツ報知  
スポニチ  
千葉日報  
デイリースポーツ  
長崎新聞  
新潟日報  
日刊工業新聞  
日本海新聞  
福井新聞  
福島民報

### ■ Web

ORICON NEWS  
AMP News  
音楽ナタリー  
テレ朝 芸能&ニュース  
TBS NEWS DIG

※五十音順・重複を除きます。

## ライオン新聞 設置ポイント募集中

日本のどこか、世界のどこかで、誰かのために頑張っている人にスポットをあてます。基金の活動報告や告知情報を掲載した季刊紙「ライオン新聞」をさまざまコンサート会場や全国の公式設置ポイントにて配布を行っています。「ライオン新聞」の公式設置ポイントを募集しています。公式設置ポイントとして新聞を受け入れていただく場合、「公的施設・商店・飲食店」など一般の方が立ち寄れる場所であること、「風雨を避けられる場所であること」などの条件がございます。ご希望の方は、ホームページのお申し込みフォームよりお申し込みくださいませ。



公式設置ポイントお申込フォーム



当法人では、公正で開かれた活動を推進するため、定款、事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、貸借対照表などをすべてをホームページに公開しています。

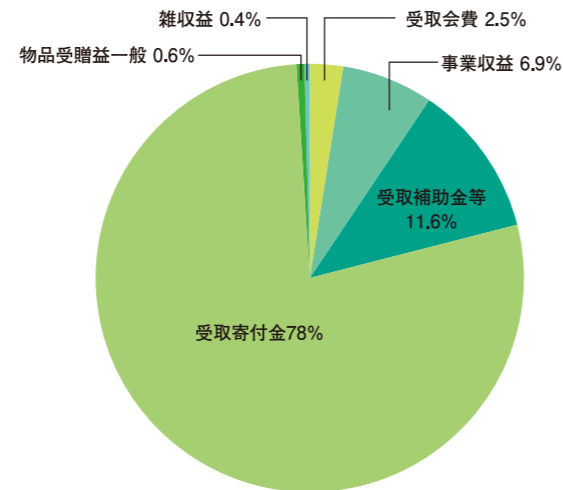


## 正味財産増減計算書

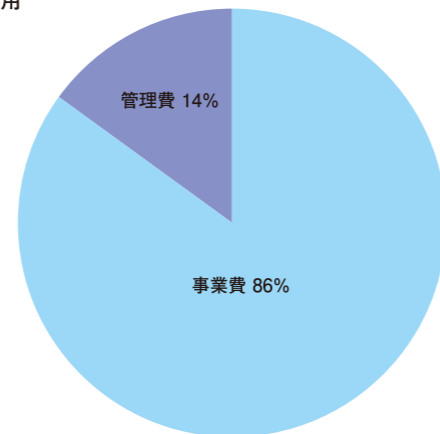
経常収益	基本財産運用益	0
	特定資産運用益	0
	受取会費	6,020,000
	事業収益	16,231,893
	受取補助金等	27,320,000
	受取負担金	0
	受取寄付金	184,772,948
	物品受贈益一般	0
	雑収益	105,420
	経常収益計	234,450,261
経常費用	事業費	142,603,837
	管理費	22,446,498
	経常費計	165,050,335
当期経常増減額		69,399,926
棚卸資産廃棄損		△430,612
法人税等		△220,000
当期一般正味財産増減額		68,749,314
一般正味財産期首残高		137,207,710
一般正味財産期末残高		205,957,024
指定正味財産期末残高		0
正味財産期末残高		205,957,024

※2023年4月1日から2024年3月31日まで(単位:円)

## 経常収益



## 経常費用



負債の部	当年度	前年度
流動負債	9,603,655	12,589,173
固定負債	0	0
負債合計	9,603,655	12,589,173

正味財産の部	当年度	前年度
指定正味財産	0	0
一般正味財産	205,957,024	137,207,710
正味財産合計	205,957,024	137,207,710

負債及び正味財産合計	当年度	前年度
負債及び正味財産合計	215,560,679	149,796,883

※2024年3月31日現在(単位:円)

## 貸借対照表

資産の部	当年度	前年度
流動資産		
現金預金	106,546,698	35,319,679
その他流動資産	2,617,158	12,224,508
流動資産合計	109,163,856	47,544,187
固定資産		
基本財産	0	0
特定資産	100,000,000	100,000,000
その他の固定資産	6,396,823	2,252,696
固定資産計	106,396,823	102,252,696
資産合計	215,560,679	149,796,883

## 組織概要

名称	公益財団法人 風に立つライオン基金	
設立日	2015年8月10日	
公益認定日	2017年7月13日(内閣府より)／同7月21日登記)	
設立者	さだまさし(佐田雅志)	
所在地	本部	〒107-0052 東京都港区赤坂6-12-11 赤坂甲陽ビル
	四国支部	〒760-0034 香川県高松市内町1-13 日新内町ビル
	関西支部	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第三ビル31F
	東北復興支部	〒986-0025 宮城県石巻市湊町2-8-24

## 評議員

鎌田 實	諏訪中央病院名誉院長
佐渡 裕	指揮者
古田敦也	スポーツキャスター
戸張 捷	ゴルフーナメントプロデューサー
安西範康	株式会社エニー顧問

## 役員

理事長	古竹孝一
副理事長	千葉恵弘
常務理事	早野秀之
理事	佐田雅志
理事	佐田繁理
理事	伊澤武志
理事	三津川真紀
監事	桑野博輔

※2024年3月31日現在